

クラウド利用研究会

- 原則、毎月第一金曜日、19時30分より開催(ほぼオンライン)
- 参加者は平均6～7名、業界は様々
- クラウド利用者(企業・団体)視線で研究会を実施
- セキュリティに関連したインシデント事例の共有

研究会の活動内容

- クラウド利用研究会では、より実務において有益なガイドラインを共有することを目指し、2020年よりISMAPP、2021年はISMAPPが参照しているNIST SP800シリーズに関する研究を実施。
- **2023年12月からFISC安全対策基準11版で追加されたクラウド関連基準の研究を開始。**
- クラウド利用者がクラウドを利用する際にリスクを勘案し、確認すべき事項を討論
- セキュリティに関連したインシデント事例の共有

ISACA年度
7月～6月

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

研究会の
歩み

▲監査・保証研究会の分科
会として活動

▲両分科会を統合、
研究会に発展

▲情報セキュリティ研究会にてクラウドの
セキュリティに関する分科会立ち上げ

クラウド導入時の
リスク、対策の
チェックシート

CCMの項目を
きっかけに
議論白熱し長期化

CCMと比較し
27017要求事項の
解釈深掘り

ISO27017に加え
ISMAPPの研究を
開始

ISMAPPが参照している
NIST SP800の研究を
開始

FISC第11版
クラウド基準
の研究を開始

▲11月

▲6月

▲7月

▲7月

▲7月

▲12月

▲1月

▲3月

▲12月

東京支部での
研究報告

クラウド利用時
チェックシート作成

SANS Top20s の研究

CCM3.0.1 の研究

ISO27017 とCCMの
比較研究

ISMAPP
の研究

NIST SP800-53
の研究

NIST
SP800-
171の研究

FISCの
研究

クラウド利用時チェックシートへの反映

活動

◆経産省ガイドライン
33項目

「クラウドサービス利用のため
の情報セキュリティマネジ
メントガイドライン」ベース

◆FISC「安全対策基準」への
リファレンス記載

情報セキュリティ対策とコントロール
の優先付けを示したコンセンサスド
キュメント

全44項目のうち、20項目を
チェックシートへマッピング・反映

(物理的セキュリティ管理強化)

CSAが作成したセキュリティコン
トロールのベースライン、クラウドベン
ダーのリスクを評価。クラウドで導
入されるセキュリティ対策の標準を
提供

16分野133項目をマッピング・
反映

クラウドサービスに関する情報セキュ
リティ管理策のガイドライン規格
ISO27017要求事項のうち48
項目をCCMとマッピング・比較(予
定)

ISO27001/27017
を参照している
ISMAPPについても研
究

ISMAPPが参照している
NIST SP800-53に
ついての研究

業務委託先
におけるセキュ
リティ基準である
SP800-171の
研究

FISC安対基準(第
11版)(23/5発行)
ではクラウドに関し
大幅改定。追加さ
れたクラウド関連基
準の研究を開始